

地域医療構想策定後の動向について（令和 5 年 2 月現在）

急性期～回復期～慢性期病床を持つ医療機関

病院名	病床転換・今後強化する機能	病床機能転換予定	診療報酬の改定を踏まえて検討されていること
大田市立病院	新病院（R2 年 5 月開院） 一般 135 床、包括 45 床、 回りハ 45 床、感染 4 床、計 229 床 ・地域医療支援への取り組み	新たな機能転換の 予定なし。	・検討課題なし。
石東病院	介護療養病床から介護医療院へ転換	平成 31 年 4 月 （42 床）	・現状を維持
加藤病院	○強化型在宅療養支援病院 麻薬使用を伴う在宅看取り等を含んだ 在宅療養支援機能の質の向上 ○地域包括ケア病棟 ・サブアキュート機能強化 ○地域医療拠点病院 ・へき地保健医療対策主要 3 事業励行 ・巡回診療等モバイルヘルスケア機能強化 ○「長期療養のための医療」と「日常生活上の世話（介護）」を一体的に提供する 機能の強化 ・（社医）仁寿会地域総合ヘルスケアステーションかわもとの施設群移転新築計画に基づき、医療療養病床及び介護老人 保健施設の両機能を統合し、介護医療院 （日常的な医学管理・緩和ケア・看取り等 の医療機能と生活施設としての機能保 有）へ転換 ○感染症対応 ・ワクチン接種推進（集団・個別・職域 接種） ・指定診療検査医療機関（新型コロナウイルス感染症に対するかかりつけ医と しての対応：特に往診検査等） ・新型コロナウイルス感染症患者即応病 床確保（その他：即応要請があった場合 の準備病床 2 床）	新施設群移転新築 設により、地域包 括ケア病床 50 床、 介護医療院 54 床と する。	・次期改定がトリプル改定にお ける診療報酬改定であることを 踏まえ以下の基本的方向性 をもって取り組む ・「地域完結型」の医療・介護提 供体制の構築への貢献 ・切れ目のない在宅医療と介護 の提供体制の構築（看取りや認 知症への対応強化）への貢献 ・在宅医療の 4 場面別連携の推 進（日常の療養支援・入退院支 援・急変時の対応・看取り） ・サービス提供人材の確保と働 き方改革の推進 ・限りある資源の効率的かつ効 果的な活用による持続可能性 への貢献 ・デジタル化、データヘルスの 推進 ・地域共生社会づくりへの貢献

公立邑智病院	・救急車の受入が増えており（前期比 1.3 倍）入院病床の確保が必要。 ・平均病床稼働率 89.6%（R5.1 末現在）であり、98 床（急性期 57 床、回復期 41 床）は必要。 ・地域特性を鑑み、総合診療を中心とした機能を維持強化。	無し。	・ 検討課題なし
--------	---	-----	----------

精神科医療機関

病院名	今後強化する機能	病床機能転換の予定	診療報酬の改定を踏まえて 検討されていること
石東病院	当面は現状維持 168 床	無し。	・ 検討課題なし。